

とびだせ！市民レポーター！

～「山梨いいもの・うまいもの市」へようちやばれ～

11月24日(土)・25日(日)に開かれる「2012 関東・東海B-1 グランプリ in 甲府」と同時に、まちおこし活動に取り組む団体が県内のご当地グルメの展覧や特産品などの販売を行う、その名も「山梨いいもの・うまいもの市」が、かすがも～る・パラカ駐車場で開催されます。

そこで、県内から出展する5団体の内、甲府から出展する2団体にお話を伺ってきました。



こうふ食倶楽部 ～こうふくほうとう～

「食をキーワードに甲府市を元気にしたい」そう語るの「こうふ食倶楽部」の石川孝さん。平成19年12月、こうふ食倶楽部は市役所職員有志のボランティアグループで結成されました。

出展する料理は「こうふくほうとう」です。ほうとうに利用する食材の中には、甲州味噌、甲州信玄豚など、山梨県産にこだわったものも使っています。

過去にさまざまなイベントに出展しており、昨年は「全国ご当地鍋フェスタ」で3位となり、「頑張ろう日本特別賞」を受賞しました。1回のイベントで約500食ものほうとうを大きな鍋で作るので、その準備は大変ですが、「おいしい」と言ってもらえることが嬉しく、活動を続ける原動力になってい

るそうです。

「ゴールはない。活動を支えてくれる人、ほうとうを召し上がってくれる人、全ての人に感謝の気持ちを忘れずに続けていきたい」そんなこうふ食倶楽部の想いがこもったほうとうを、ぜひ一度味わってみてはいかがでしょうか。



▲京都で行われた「全国ご当地鍋フェスタ」でのこうふ食倶楽部の皆さん。写真下段、左から3人目が石川さん。

甲府商工会議所青年部 ～甲州さくらモツ～

甲州地方では古くから食べられている馬のモツ、「甲州さくらモツ」を出展するのは甲府商工会議所青年部の皆さんです。

「街中に人が集まるように、街を元気にしたい」という想いから、平成17年の「えびす講まつり」をきっかけに出展が始まりました。当初、年に1回

の出展でしたが今では、えびす講まつり(11月)はもちろん、10月20日(土)に行われる「甲府大好きまつり」にも出展するなど、活発になってきています。

甲府商工会議所青年部の皆さんは、普段現場で働いている方など約35人からなり、それぞれの業種は看板屋、酒屋、造園業など多岐に渡っています。名誉やお金のためではなく、まちづくりの一環として甲州さくらモツを広めるために、楽しく一生懸命活動していると伺いました。

日中、汗を流して働いている皆さんが、熱い気持ちを込めて時間をかけて軟らかく煮たモツは、絶対食べる価値ありの一品です。



▲平成22年6月に行われた、富士吉田産業まつりでの甲府商工会議所青年部の皆さん。

■ 編集後記

今回の取材を通して、両団体の「甲府をどうにかしなくちゃ」という熱い想いが伝わってきました。私もこれから何らかの形で、大好きな地元を盛り上げていくような活動をしていきたいと思えます。



今月の担当レポーター／千野真紗子

●市民レポーターとは…市のイベントや地域の文化・福祉・観光など、甲府市の魅力を市民の目線から広報誌とホームページ(ブログ)を通じてわかりやすくお伝えします。